

平成24年度 第37回関東中学校軟式野球大会

下妻市立千代川中学校 対 川口市立青木中学校

青木中、接戦を制し決勝の舞台へ!



埼玉県営大宮公園野球場 準決勝

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	特1	特2	特3	計
下妻市立千代川中学校	1	0	0	0	0	2	1						4
川口市立青木中学校	2	0	1	2	0	0	×						5

【審判】 球審 松野 一塁 星野 二塁 久米 三塁 中窪
 【投手 - 捕手】 下妻市立千代川中学校 投手 一捕手 塚越、川崎 - 前野
 川口市立青木中学校 投手 一捕手 松本、中島(史) - 市橋
 【長打】 二塁打 三塁打 本塁打 阿部(青) 川崎(千)

<試合経過>

初回、先攻の千代川中は先頭が四球で出塁し、すかさず盗塁を決める。後続が送りバントで3塁まで進めると、3番加園がレフトへ犠牲フライを打ち、先制点を挙げる。その裏、青木中はワンアウトから四球で出塁すると、3番阿部がライトスタンドへホームランを打ち、逆転。千代川中は3回、四球の後に盗塁し、2塁への悪送球の間に3塁まで進めるも無得点。4回、青木中はツーアウトながら連打で1・2塁と好機を作る。後続の5番森谷のセーフティバントが悪送球を誘い、1点追加。さらに5回青木は8番平林がレフト前へヒットを打ち、送りバントで2塁まで進めると、1番田中がセンター前へヒットを打ち1点追加する。その後、バッテリー間のミスで1点をさらに追加。6回、反撃したい千代川中は9番小堀がレフト前へヒットで出塁し、続く1番の川崎がセンターオーバーのランニングホームランで2点を返す。迎えた最終回青木中はピッチャーを中島に代え、千代川中も粘りを見せ1点を取るも後続の反撃を抑え、決勝進出を決める。

下妻市立千代川中学校

打順	守備	選手	打席	打数	安打	打点	三振	四死球	犠打	盗塁
1	6・1	川崎 駿	3	1	1	2	0	2	0	2
2	4	江崎 眞治	3	2	0	0	0	0	1	0
3	5	加園 叶	3	2	0	1	0	0	1	0
4	3	石井 大貴	3	3	0	0	0	0	0	0
5	2	前野 広太	3	3	1	0	0	0	0	0
6	7	斉藤 健太	3	3	0	0	0	0	0	0
7	1・6	塚越 純也	3	3	0	0	1	0	0	0
8	9	静谷 広樹	3	3	1	1	2	0	0	0
9	8	小堀 兼矢	3	3	1	0	2	0	0	0
計			27	23	4	4	5	2	2	2

投手	回数	アウト	打者	球数	被安打	奪三振	四死球	失点
塚越 純也	3	10	17	64	4	1	2	3
川崎 駿	3	8	10	33	3	0	1	2

川口市立青木中学校

打順	守備	選手	打席	打数	安打	打点	三振	四死球	犠打	盗塁
1	4・8	田中 勇大	3	3	1	0	0	0	0	0
2	7	下村 咲	3	1	0	0	1	2	0	0
3	9・3	阿部 拓人	3	3	2	2	0	0	0	0
4	3・1	中島 史也	3	3	2	0	0	0	0	0
5	5・9	森谷 涼	3	3	0	0	0	0	0	0
6	1・5	松本 陵汰	3	2	0	0	0	1	0	0
7	2	市橋 太貴	3	2	1	0	0	0	1	0
8	6	平林 了	3	3	1	0	0	0	0	0
9	8	高村 侯臣	2	1	0	0	0	0	1	0
	H4	鴫田 拓海	1	1	0	0	0	0	0	0
計			27	22	7	2	1	3	2	0

投手	回数	アウト	打者	球数	被安打	奪三振	四死球	失点
松本 陵汰	6	18	22	91	2	4	2	3
中島 史也	1	3	5	20	2	1	0	1



逆転のホームランを放った主将・阿部

チームコメント

青木中 上村監督

初回のホームランに尽きると思っています。私自身も驚きました。3、4回はよく点を取ってくれました。特にセーフティバントが決まったのは大きかった。ただ、6、7回の失点は不用意だったので、気を引き締めていきたい。

青木中 阿部主将

序盤に点を取れて良かったです。自分の打球がホームランになるとは思いませんでした。ここまで来たら、優勝して全国へ行きたいです。

千代川中 佐次監督

試合は上出来だった。うちは守るチームだが、ミスが出てしまった。最後まであきらめないのがチームの特徴だが、それができた。全国では打線の調子をあげて臨みたい。